

取組概要（目的）

弘前大学浪江町復興支援ワーキンググループを中心とし、浪江町を教育実践のフィールドとした事業を展開する。保健学・教育学・理工学部の学生にフィールド活用型アクティブ・ラーニングプログラムを実践し、地域の子供たちや地域の方々へ情報発信する。また、帰還後の住民や町職員のためのリカレント教育プログラムと直接対話によるリスクコミュニケーションも実践する。

これまでの成果 ～学生向けプログラム～

1. 看護学生のための教育プログラム



道の駅なみえでの健康相談

2. 放射線防護を学ぶ学生のための教育プログラム



浪江町津島地区での空間線量の測定

3. 放射線生物影響を学ぶ学生のための教育プログラム



なみえ創成小学校児童の昆虫採集と水生生物の観察の様子

4. 環境防災を学ぶ学生のための教育プログラム



震災遺構・浪江町立請戸小学校の施設見学

東北地方太平洋沖地震の揺れを記録した観測点の見学

5. 環境放射能を学ぶ学生の教育プログラム



なみえ創成小学校・中学校での気象データ収集

浪江町請戸川での採水実習

6. 地域教育を学ぶ学生のための教育プログラム 2023年度から実施



浪江にじいるこども園での運動会

なみえ創成中学校での放射線に関する出前授業

これまでの成果 ～地域住民向けプログラム～

1. 浪江町民を対象とした放射線リテラシー醸成の教育プログラム 2. こども園職員自身が放射線リスクコミュニケーションを実践するための教育プログラム



放射線についての講話



東京電力福島第一原子力発電所の見学ツアー



サーベイメータの取り扱い等に関する講習



園内遊具等の測定検査

3. 桜復興・観光資源保全に向けた教育プログラム 2024年度から実施

その他



浪江町内の桜の調査



なみえの夏祭り2023への参加



令和5年度弘前大学
浪江町復興支援活動成果報告会



東日本大震災・原子力災害伝承館の
施設見学